

議会報告会の実施結果について（平成26年4月22日開催）

1 会場別の状況

会場	城北公民館	田川公民館	入山辺公民館	松原地区公民館
時間	午後7時 ～8時32分	午後7時 ～8時35分	午後7時 ～8時17分	午後7時 ～8時30分
参加者数	38人	41人	28人	46人

2 実施内容

- (1) 議会報告
 - ア 市議会の仕組み・活動について
 - イ 2月定例会の審議結果
- (2) 報告に対する質疑応答
- (3) 議会及び市の政策等に関する意見・提言等

3 主な質問内容

- (1) 議会について
政務活動費の制度内容、ステップアップ市民会議に関する現在の取組状況
- (2) 2月定例会の審議内容について
次世代交通政策の内容、（仮称）かりがねサッカー場建設事業の詳細、今後のゾーン30指定の計画、地域づくりを推進する条例制定の意図、新たな地域づくり支援の体制・進め方、空き家等の適正管理に関する条例の運用に当たっての適用範囲、誕生記念樹の苗木の種類
- (3) 市の政策等について
三ガク都の今後、梓川地区へのゾーン30指定の経緯、財政状況、防災無線の効果検証、震災対策、大雪への対応状況
- (4) その他
安曇野市・松本市山林組合議会の活動内容、震災時のダムの安全性、塩尻市のバイオマス発電がもたらす環境への影響 等

4 主な意見・提言等

(1) 議会について

- ・もっと議員は勉強して、市の提案を詳細に検討してもらいたい。議会を傍聴しても物足りなさを感じる。
- ・議会提出の議案が少ない。
- ・もっと市民の目線に立ってしっかりと審査してほしい。
- ・合併により市域が大きく広がったことを考えると、一人当たりの議員報酬を減らして議員定数をふやすべきではないか。いろいろな立場を代表した大勢の議員による議論が必要ではないか。

(2) 議会報告会について

- ・もっと議員一人一人がどのように考えているのか、本音が聞きたい。

(3) 市の政策について

【総務委員会所管分】

- ・プロスポーツ振興による恩恵についてもっと広報すべき。
- ・大規模地震はいつ起きてもおかしくない。危機管理意識を強く持って、防災体制の整備を更に早く進めるよう検討してほしい。
- ・自主防災組織防災活動支援補助金を活用しているが、利用限度額を上げてほしい。

【教育民生委員会所管分】

- ・市立病院を含めた複数の病院で、難病をもった胎児のお産を断られた。安心して子供を産める体制を望む。
- ・学都松本にふさわしい教育制度を求める。
- ・可能な範囲で、小・中学校の校庭の芝生化も実施してもらいたい。
- ・子供が活発に遊ぶことができるように遊具の充実を図ってほしい。
- ・これまで全国にも類を見ない公民館活動が行われてきたが、現在進めている新たな地域づくりの取組みにより、自立性がなくなり、市役所に飲み込まれることになるのではないか。

【総務・教育民生委員会所管分】

- ・市が税金を使って松本山雅を支援するのはいかなものか。

【経済環境委員会所管分】

- ・新しく制定・設置された、地域づくり推進条例や地域づくりセンターについて理解できるよう説明会を開催してほしい。
- ・市は情報の周知など町会を頼りにしている部分が多い。市有地にある町会公民館の借地料は減免してもよいのではないか。
- ・しっかりと地域づくりを進めていくには当然お金が必要となる。重点的に支援していく体制づくりをお願いしたい。
- ・各地区の課題解決や、新たな事業の実施にはどれも資金が必要となる。それぞれの地区が自由に地域づくりに取り組めるよう、縛りのない補助金を100万円程度割り当てていただきたい。
- ・財産区の山林について、地元への還元、防災、鹿対策の3点を研究してもらいたい。
- ・排除ではなく、財産として活用法を考える形で、空き家対策を行ってほしい。地域とタイアップし、市民協働で進めてほしい。

【建設委員会所管分】

- ・町会による除雪機購入への補助制度を検討してほしい。

【教育民生・建設委員会所管分】

- ・住んでいる方を強制的に追い出すような形で松本城外堀の復元を進めることには疑問を感じる。

(4) その他

- ・県立4年制大学は必要ないのではないか。

5 アンケート結果

別紙のとおり